

国土交通大臣

石井 啓一 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成29年11月)

鳥 取 県

高速道路ネットワークの早期整備及び4車線化の推進について

《提案・要望の内容》

【高速道路ネットワークの早期整備】

高速道路ネットワークの整備は、本県に地方創生の実現に向けた着実な歩みをもたらしており、山陰道（鳥取西道路）の平成30年全線供用開始が公表されたことで、移動時間の短縮効果による利用客の増加を見込み、鳥取市と松江市を結ぶ高速バスが増便されるなど、高速道路の整備を活用した動きが活性化している。

地方創生を実現するためには、基礎的な社会インフラとして高速道路ネットワークの整備が不可欠であり、「鳥取県元気づくり総合戦略」において、地方創生に向け整備すべき社会基盤として高速道路ネットワークを位置づけ、地元自治体、地域住民、経済界などとも協力し、観光客のレンタカー利用に対する助成やDMOの設立による観光周遊促進など、道路ネットワークの活用を促し地域に活力をもたらす取組を展開している。

さらに、去年の鳥取県中部地震を経験し、高速道路ネットワークの「命の道」としての重要性を再認識したところであり、国土強靱化の観点からも以下について強く要望する。

- 山陰道、山陰近畿自動車道等の高速道路ネットワークの早期整備
- 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の嵩上げ措置の平成30年度以降の継続とさらなる拡充
- 道路予算の要求額に対する満額（総額）の確保

【米子自動車道・鳥取自動車道等の暫定2車線区間の4車線化】

米子自動車道においては、高速道路から最寄りの道の駅への一時退出にともなう料金の据え置き割引対象に、「江府IC-道の駅奥大山」が選定されたことに御礼申し上げる。

利便性が向上することで米子自動車道の利用促進が進むとともに、道の駅「奥大山」の利用者の増加も期待されることから、この機会を逃さず、地域の拠点としての取組を強化し、地域の活性化に向け取り組んで行く。

一方で、高速道路の暫定2車線区間においては、依然として対面交通に起因する重大事故の発生や豪雪時の大規模な滞留や通行止めにより、尊い人命が失われ、地域経済が大きく損なわれる事態が生じている。

さらに、米子自動車道や鳥取自動車道が通行止めとなった際に迂回路となる国道は、異常気象時の土砂崩落や降雪期の雪崩による通行止めが発生するなどの脆弱性を有しており、大規模災害時には高速道路及び迂回路の双方が通行不能となり、道路ネットワークの寸断による県民生活や経済活動への多大な影響が危惧される。

ついては、高速道路が本来有すべき定時性・安全性を確保し、強靱な高速道路ネットワークを構築するため、以下について強く要望する。

- 米子自動車道の付加車線設置検証区間の整備促進及び全線4車線化
- 鳥取自動車道の付加車線整備中区間の早期供用及び全線4車線化
- 山陰道（米子道路）の付加車線整備中区間の早期供用

【高規格幹線道路等】

- 平成30年全線開通予定の山陰道（鳥取西道路）の一日も早い供用
- 山陰道（北条道路）及び湯梨浜・北栄事故対策による効率的な整備促進
- 山陰近畿自動車道（山陰道～鳥取市福部町）の計画段階評価の促進
- 山陰近畿自動車道（岩美道路）の整備促進
- 米子境港の高速道路の早期事業化に向けた検討の促進

【高規格幹線道路等を補完する地域高規格道路】

- 北条湯原道路（北条倉吉道路（延伸）、倉吉道路、倉吉関金道路）の整備促進
- 江府三次道路（鍵掛峠道路、江府道路）の整備促進

【道路整備に係る財政措置】

- 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に規定されている補助率等の嵩上げ措置の平成30年度以降の継続
- 地方創生推進のために真に必要な道路整備に対する補助率等の拡充

■県内高速道路の整備状況

路線名	県内延長	整備状況				全国 (H28末)	付加車線 設置延長	
		平成28年度末		鳥取西道路供用時			供用延長	整備率
		供用延長	供用率	供用延長	供用率			
山陰道	88.0	57.0	64.8%	74.5	84.7%		6.8	11.9%
鳥取自動車道	38.4	38.4	100.0%	38.4	100.0%		1.1	2.8%
米子自動車道	48.2	27.2	56.4%	27.2	56.4%		8.2	30.1%
合計	174.6	122.6	70.2%	140.1	80.2%	80.4% 鳥取県42位	16.1	13.1%

■高速道路整備と連携しストック効果を一層高めるための地域プロジェクト

○工業団地の整備

- ・高速道路ネットワークの整備促進を見据え、沿線の自治体と連携し企業立地促進のための工業団地を確保。

分譲中：13箇所 準備中：5箇所 未買収であるが提供可能として確保した箇所：7箇所

○融資制度の創設などによる県外企業の誘致促進及び県内企業の新増設の促進

- ・県外企業の誘致 68社（4,058名の雇用を確保）
- ・県内企業の新増設 195社 （H23～H28：6年間の実績）

○県内観光の魅力向上

- ・水木しげるロードのリニューアルや近隣県と連携したサイクリングロードの構築など、県内観光の魅力向上を推進。
- ・様々な施策と連携し新たなインバウンド観光需要の創出を行うことで、平成28年度に創立された山陰DMOが掲げる平成32年の外国宿泊者数の40万人（対平成27年度比3.3倍）の達成を目指す。

鳥取県は、高速道路ネットワークを活用し

要望

『地方創生の実現』を目指します!!

【鳥取県元気づくり総合戦略からの抜粋】

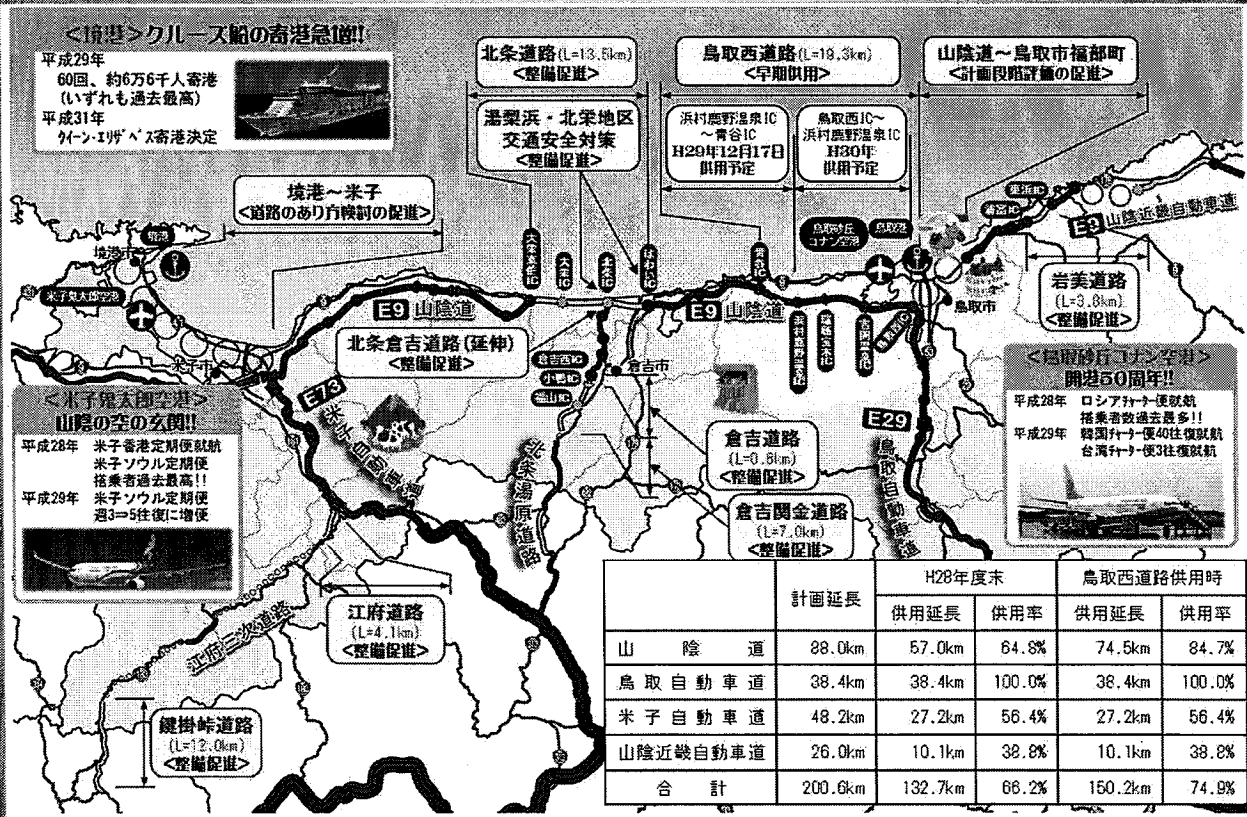
○社会基盤の充実

地方創生を実現するためには、観光・交流人口の拡大や物流の効率化が必要であり、そのためにも全国の高速道路ネットワークとつながることが必要です。山陰道や山陰近畿自動車道など高速道路未開通区間や地域高規格道路の整備促進、また開通区間においても付加車線や4車線化などの機能向上を進めます。

国外への販路拡大のためには港湾整備も重要です。北東アジア地域へのゲートウェイとして、境港の港湾整備を進めます。

高速道路の整備と活用の促進により

『鳥取県の元気づくり』を推進!!



『豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる』

高速道路の整備により観光客の溢れる鳥取県に!!

要望

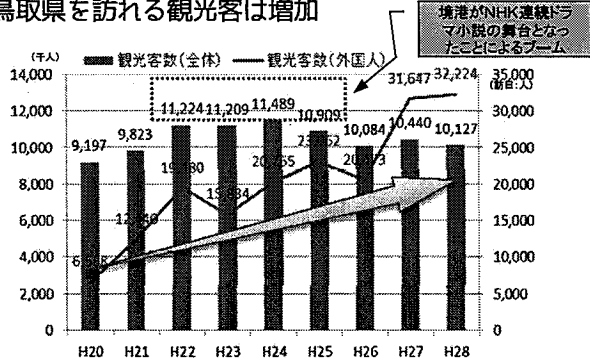


高速道路ネットワークの整備により、県内の移動時間の短縮による周遊範囲の拡大などを図り、魅力溢れる自然を活かした体験など、自然を満喫できる環境を活かして、豊かな自然でのびのびと鳥取らしく生きる取組を推進します。

高速道路の整備が『観光振興』を加速！！

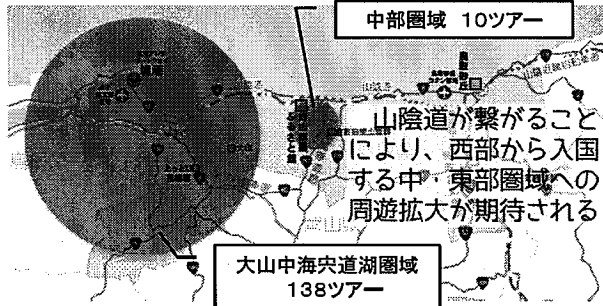
観光入込客の増加

高速道路の整備により移動の利便性が向上し、鳥取県を訪れる観光客は増加



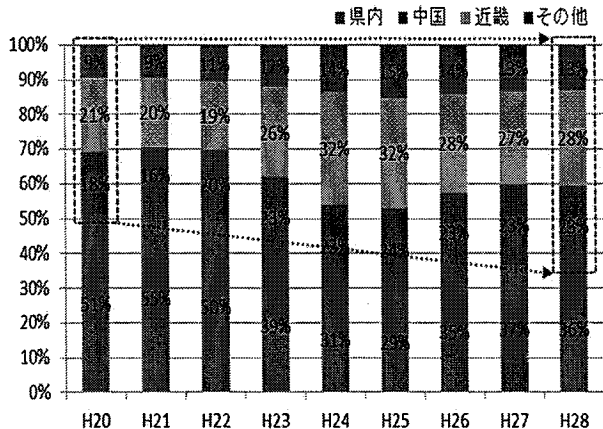
外国人による周遊観光の増加

鳥取県を訪れる外国人も急増し、高速道路を利用してバスツアーやレンタカーで圏域を周遊



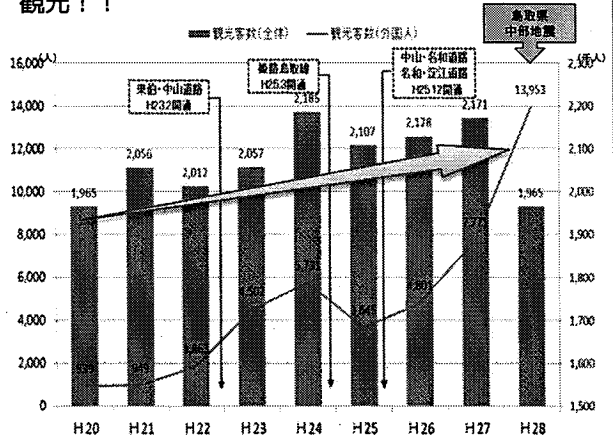
周辺圏域からの観光客が増加

高速道路の整備により、中国地方、近畿地方を中心に周辺圏域から訪れる観光客が増加！！



県中部の観光客も増加

高速道路の開通に伴い県中部を訪れる観光客も増加し、県西部から入国する外国人も中部圏域を観光！！



※観光客数(外国人)は青山南島ふるさと館のデータ

『豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる』
 高速道路の整備により大規模イベントを支援!!

要望

高速道路は大規模なイベントを支える重要なインフラ

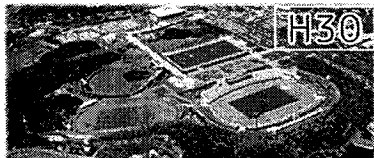


鳥取県では、地域に活力を生み、鳥取県の魅力を広くPRするため、平成30年度以降に全県で大規模イベントの開催を多数予定しており、今後も積極的に大規模イベントの誘致を進めていく予定です。

高速道路ネットワークにより通過交通と生活交通を分離することで、イベント参加者の移動の円滑化と県民の日常生活への影響を低減させ、イベントを成功に導くことにより鳥取県の魅力発信と地域の活性化を図ります。

山陰道（鳥取西道路）の全線開通がH30開催イベントを成功に導く！！

①全日本マスターズ陸上



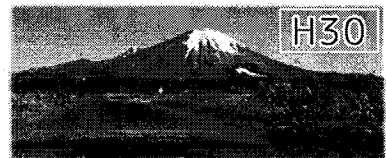
- バレーノ勢を中心とした陸上の祭典
- 鳥取県をPRする各種イベントも開催

②山陰海岸ジオパーク再認定



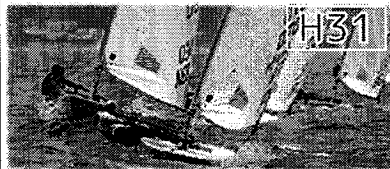
- 『エリアを横断する道路の建設・延長が必要である』との指摘

③大山開山1300年祭



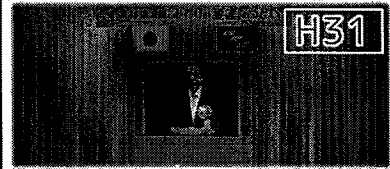
- 大山寺が開創1300年
- 大山の「ブランド」化を推進

④レガレザ-級世界選手権大会



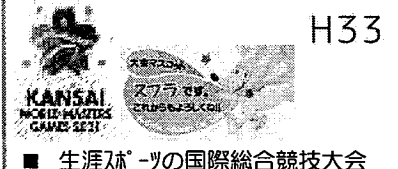
- コーチらを含め世界各国から500名以上の参加

⑤第30回全国「みどりの愛護」のつどい



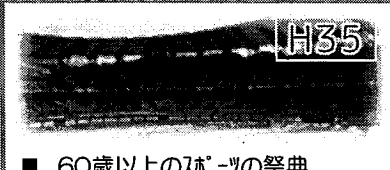
- 緑を守り育てる国民運動の推進
- 全国の緑の関係者が一堂につどう

⑥関西ワールドマスターズゲームズ2021



- 生涯スポーツの国際総合競技大会
- アジアで初めての開催であり、関西の2府7県が競技会場

⑦全国健康福祉祭(ねんりんピック)



- 60歳以上のスポーツの祭典
- 鳥取県全域を会場とし、関連イベントを多数開催

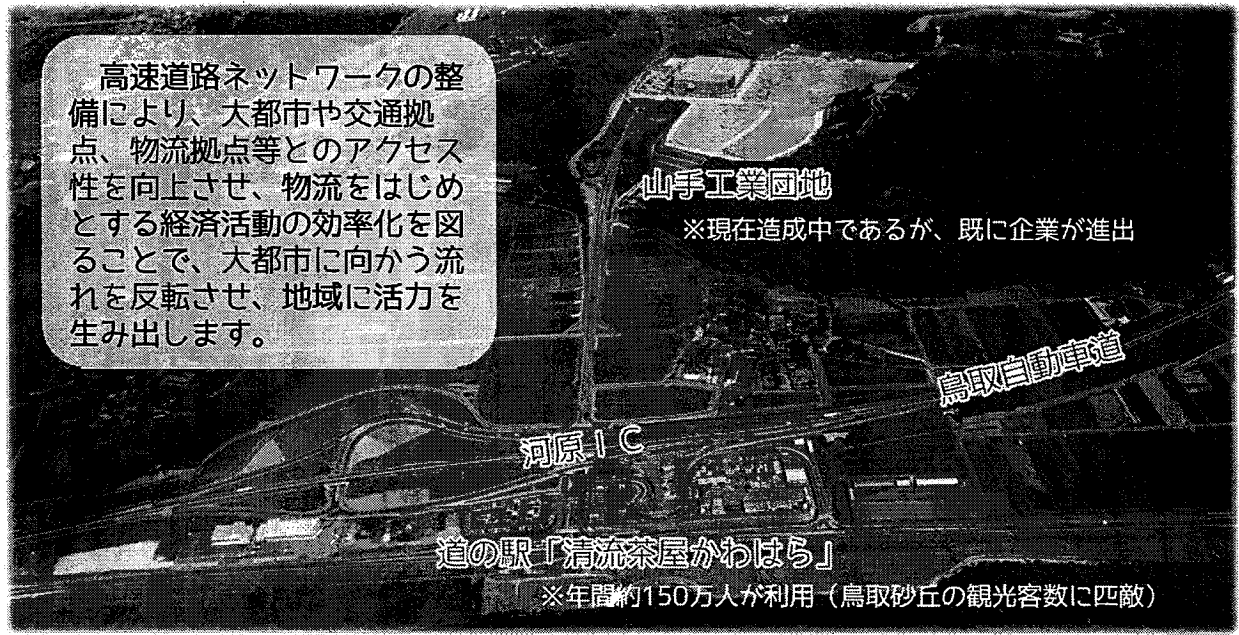
H30年に予定されている主なスポーツイベント

- グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2018
- スポーツライミングアジア選手権2018
- 全国中学校体育大会（サッカー、ソフトボール）
- 卓球・世界カデットチャレンジ大会

『幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ』 高速道路の整備により経済活動を活性化!!

要望

高速道路ネットワークの整備により、大都市や交通拠点、物流拠点等とのアクセス性を向上させ、物流をはじめとする経済活動の効率化を図ることで、大都市に向かう流れを反転させ、地域に活力を生み出します。



山手工業団地

※現在造成中であるが、既に企業が進出

河原IC

道の駅「清流茶屋かわはら」

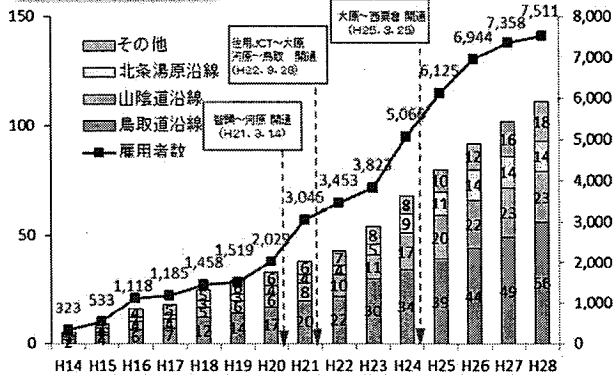
※年間約150万人が利用（鳥取砂丘の観光客数に匹敵）

高速道路の整備が『経済活動』を活性化!!

企業進出による雇用者数の増加

高速道路整備により都市圏との時間的距離が近くなり、企業進出などにより新たな雇用を創出

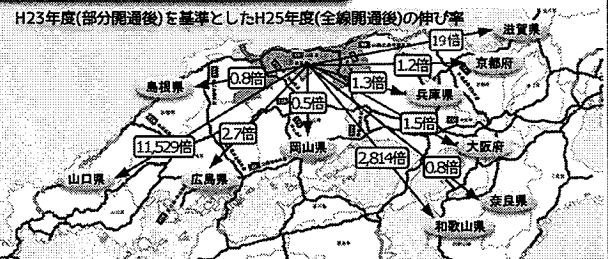
企業進出の状況



自動車貨物輸送量の増加

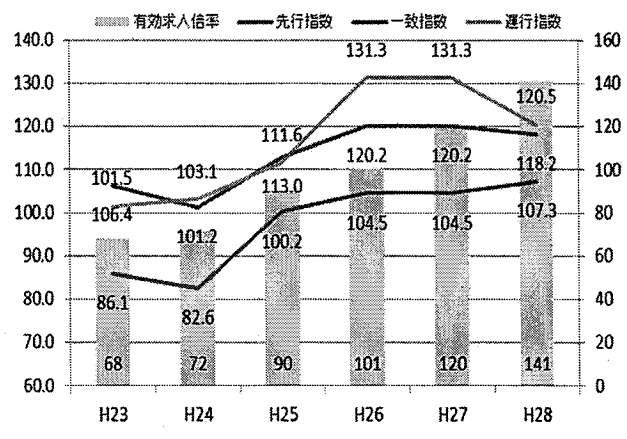
鳥取自動車道の全線開通時には関西や広島方面への貨物輸送量が大幅に増加するなど、圏域を結ぶ物流の活性化が促進

鳥取道全線開通時の物流の変化



景気動向指数の増加

高速道路の開通とともに景気動向指数も上昇し、有効求人倍率も大きく伸びるなど、経済活動の活性化が促進



工業団地の分譲も促進

工場団地の分譲も進み、新たな工場団地の工業団地の造成にも着手し、さらに企業誘致を促進

工業団地の分譲状況

